

# ロジスティックス 東西南北

## SGホールディングス

環境大臣賞受賞の絵画を抱いたお洒落なトラックが出陣

佐川急便の持ち株会社・SGホールディングスは、環境大臣賞に輝いた小学生の力作の絵画をトラックにラッピング、その出発式が2月18日同社東京事務所で行なわれた。同社が小学生を対象に主催する環境絵画コンクール「SGホールディングス/佐川急便 全国エコ絵画コンクール2016」で2作品が同賞を受賞、これを祝したイベントだ。



小学生2人の秀作で飾られたラッピングトラック

本コンクールは、絵画を通じて次世代を担う子供達に「環境」に対する意識の向上を図る一助になることを目的としたもの。

今年は第3回目、気になるお題目は「守りたい、ほぐたち、わたしたちの地球」。

応募総数は過去最多の1万4398点に上り、最優秀作品に当たる「環境大臣賞」を受賞した、小学6年生の室結子さん（兵庫）と、小学1年生の松下玉磨輝さん（三重）の2作品を、佐川急便トラックのラッピングデザインとして採用。出発式には、本コンクールで特別



室さん（上）、松下さん（下）も嬉しそうだ

審査員を務めたさかなクンも駆けつけ、お馴染みの「ギョギョギョ」を連発、将来の「画伯」の腕前に改めて目を見張っていた。

また、自らの作品で彩られたラッピングトラックの前に、室さんは「凄く大きくてびっくりしました!」と驚きを隠せない様子。また松下さんも、「早く皆さんにも見てもらいたいです!」と、大喜び。

ところで、気になる2人の絵に関してだが、『住吉川で遊ぶ子ども』は、小さい頃に住吉川であったカレー大会のことを思い出して描きました。トラック



クがとても大きくてびっくりしました。恥ずかしいけど嬉しいです。（普段、エゴのために取り組んでいることとしては）間伐材を使った鉛筆をよく使っています」（室さん）

『たこのまほう』は、タコが皆で力を合わせて「ちきゅう」をすてくれるように、という思いを込めて描きました。このトラックを、早く皆さんにも見てもらいたいです。（普段、エゴのために取り組んでいることとしては）ゴミを川に捨てたりしないで、ちゃんとゴミ箱に捨てています」（松下さん）と可愛らしいコメント。

また、さかなクンも、『2人の絵は、見ていてスギョクワクワクします! 室さんの作品は、『川でよく遊んでいたなあ〜』と小さい頃を思い出して、ずつと残していきたい自然だと改めて感じました! 松下さんの作品は、タコちゃんの魔法のステッキがステキー! な、とても夢一杯の作品です! これからの作品がラッピングされたトラックを街中で探すがとっても楽しみです!』と興奮を隠せない様子。

ラッピングトラックは今春より、全国主要都市を中心に計80台走行する予定だ。